

数学 B(理系数学)

- 1 関数の極限やグラフの概形を求める問題である。関数の増減についての基本事項の理解に加えて、指数関数や対数関数の微分や極限を正確に計算する能力が要求されている。
- 2 複素数と確率に関する問題である。複素数の基本的な性質をふまえた上で、与えられた事象が起こる確率を求める計算力、数列とその極限についての基本事項の理解が要求されている。
- 3 三角形の辺の長さや角の大きさに関する論証問題である。三角形の幾何学的な性質や三角関数の基本的な性質を的確に用いる能力が求められている。
- 4 不等式で定義された図形の面積についての問題である。面積と積分の関係や対数関数の基本的な性質の理解、積分と極限に関する計算力が要求されている。
- 5 回転体の体積に関する問題である。与えられた条件と図形の性質に着目し、論証と計算を着実に実行する能力が求められている。